

2009年 1月 29日

各 位

株式会社キョーリン
東京都千代田区神田駿河台2-5
証券コード 4569 東証1部

COPD患者を対象にしたムコダインの臨床試験「PEACE Study」の論文
THE LANCETの「Paper of the year 2008」に選出

株式会社キョーリンの子会社である杏林製薬株式会社(本社：東京都千代田区、社長：古城格)が販売しているムコダインに関する臨床試験「PEACE Study^{※1}」の論文^{※2}がこの度、THE LANCETの「Paper of the year 2008」に選出されました。

「PEACE Study」は、2005年4月から2006年10月に実施されたムコダインのCOPD患者に対する急性増悪抑制効果を検証する臨床試験で日本および中国において実施されました。その結果、ムコダインはCOPDの急性増悪の抑制効果を示すことが検証され、また患者のQOLも改善することが認められました。中国における結果はJin-Ping Zheng教授らによって論文化され、その高い臨床的価値からイギリスの臨床医学論文雑誌で世界的に権威のあるTHE LANCETへ2008年6月に掲載されました。

「Paper of the year 2008」は2008年に発表された論文の中で実際の臨床現場にインパクトを与える内容を選考基準として、THE LANCETの編集委員により6報をまずノミネートし、その後、THE LANCETの編集委員及び読者によるインターネットでの投票が08年12月19日から09年1月12日まで行なわれました。その結果(投票数21,556票)、「PEACE Study」の論文がベスト3報に選ばれ、THE LANCETの読者による投票では第1位となりました。

今回、「PEACE Study」の論文が選出された理由は以下の通りです。

- ① 現行の医療の変革と利益をもたらすよう工夫された試験デザインであり、将来実施される研究のベンチマークとなる。
- ② 臨床医や治療方針の決定に関し、治療介入の意義を納得しうる適切な試験である。
- ③ 公衆衛生や世界の健康問題に関与し、疾患がもたらす重大問題に立ち向かう新たな治療戦略を提供している。
- ④ 予防医療における問題点を投げかけ、さらにこれまで治療が困難とされていた疾患に対し、新たな治療手段を提供できる研究である。

杏林製薬(株)は、ムコダインに関連する最新の情報を提供することにより、呼吸器疾患の治療に一層貢献してまいります。

※1 : Preventive Effect on Acute Exacerbation of Chronic Obstructive Pulmonary Disease(COPD) with Carbocysteine 1500mg/day の略。

※2 : Zheng JP, Kang J, Huang SG, et al, Effect of carbocysteine on acute exacerbation of chronic obstructive pulmonary disease (PEACE Study) : a randomised placebo-controlled study. *Lancet* 2008; 371: 2013-18.

以 上

この件に関するお問合せ先 株式会社キョーリン 経営企画部 TEL : 03 - 3293 - 3414 FAX : 03 - 3293 - 3454
